

11月28日(木)に由布岳に初冠雪が、鶴見岳では初霧氷が観測されました。由布岳の初冠雪は平年並みで、去年と比べると10日遅いということです。今年の夏はとても暑くて、この暑さがいつまで続くのか、秋は来るのかと疑うようでしたが、なんとか季節が進み四季が巡っていることが確認できました。

さて、12月に入りました。12月は師走(しはす)とも呼ばれますが、この語源のもっとも有名なのは、「師」が僧侶を指すもの。昔は冬に家々で僧侶を招き読経や仏事を行う習慣があり、そのため僧侶が忙しく各地を訪れることから「師が馳せる」で師走となったもの。ほかの呼びかたとしては「極月(ごくげつ)」「春待月(はるまたづき)」「梅初月(うめはつづき)」「限りの月」などの呼びかたがあるようです。

その師走に入り受験生の緊張感も高まってきました。受験生としては中学受験、共通テスト、私立高校受験と年が明ければ、いよいよ入試が始まります。教室に自習に来る生徒も多くなりました。師が馳せるといいますが、生徒も目標に向けてスパートをかけてきました。講師も生徒のゴールへの道のりをサポートしていきたいと思います。

最後になりましたが、今年も自啓館で受講していただきありがとうございました。これから受験シーズンを迎えますが、全員合格を目指し、講師一同全力で生徒の指導に当たっていきます。来年もよろしくお願いいたします。



《冬期講座期間中の通常授業について》

自啓館では12月14日(土)・21日(土)・22日(日)、25日(水)～30日(月)、1月4日(土)～7日(火)の期間で冬期講座を行います。(詳細は別紙、冬期講座のご案内をご覧ください。)授業予定表に表記していますが、冬期講座期間中の通常授業は休講となります。よって通常授業は2週間ほどお休みになります。

受験生については、本番前の追い込み、他学年においては、2学期の重要な学習内容の復習、および冬休み明けのテスト対策に向けて取り組みます。受験生はもちろん、他学年についても冬期講座への積極的な参加をお待ちしております。

※日程が合わない場合などは、各教室長にご相談ください。